

医労連速報 '13春闘

2013年3月11日 No11

東京都台東区入谷 1-9-5 日本医労連 tel

<2013年春闘 3.14「いのちまもる」全国統一行動アピール案>
賃上げで「ヤル気」アップ！日本経済も元気にする！

**大增税・社会保障改悪阻止と大幅賃上げで、
いのちと暮らしをまもるため、全国が決起しよう！！**

賃上げこそ日本経済再生の道、全国の労働者が奮闘

本日14日、賃上げこそ日本経済再生の道と、全労連・国民春闘共闘に結集する労働者が全国で統一行動に立ち上がっています。

組合員のみなさん。私たちは、2013年春闘をベースアップによる賃上げを掲げて取り組んでいます。政府やマスコミも、「デフレ不況克服のためには、賃金引き上げと雇用の安定が必要」と言いはじめました。景気回復策として「アベノミクス」を掲げる安倍首相は、賃金が上がらなければ景気回復はしないと国会で詰め寄られ、経営者に賃上げを要請すると答弁し、2月12日、経団連など財界3団体に対し賃上げを要請しました。「デフレ脱却には内需の6割を占める個人消費の拡大が不可欠で、そのためには雇用の安定や賃金の改善によって所得を増やすことが何よりも必要」（「毎日」1月19日付）、「経営者には『日本経済の再生』という大きな観点で応えてほしい」（「産経」2月19日付）など、賃上げ必要論が広がっています。こういう変化を、賃上げにしっかり結び付けましょう！

社会的役割にふさわしい賃金・労働条件の改善はゆずれない

医療・福祉に働く私たちは、人々のいのちと健康、人権に関わる崇高な仕事に誇りを持っています。しかしながら、賃金は低く抑えられ、過酷な労働条件もなかなか改善されません。社会的役割にふさわしい賃金・労働条件の確保には、診療・介護報酬の大幅な改善が必要であることは言うまでもありません。しかし、2010年度・2012年度の診療報酬改定で大幅に収支を改善しているにも関わらず、設備投資等を理由に賃金改善を渋っている経営者も多く見受けられます。経営改善の原動力は労働者であり、労働力にみあった大幅賃上げを求めます。経営状況が厳しい施設においても、賃金・労働条件改善は事業継続のためにも必須です。「誰でも月2万円以上、時給200円以上」、経験に見合ったポイント賃金での寝たきり賃金是正、非正規の仲間の賃金改善「最低賃金のアップ」を私たちは強く要求し、簡単にあきらめない、「しつこく」たたかって前進をはかるために全国の医労連の仲間とともに奮闘します。

幅広い共同で、大增税・社会保障改悪を阻止、いのちと暮らしをまもろう

安倍政権は、社会保障改悪、原発再稼働、公約違反のTPP参加への固執など国民生活破壊の政策を押し進めています。私たちは、幅広い国民との共同で、大增税・社会保障改悪を阻止し、いのちと暮らしをまもるために全国の仲間と奮闘します。 以上